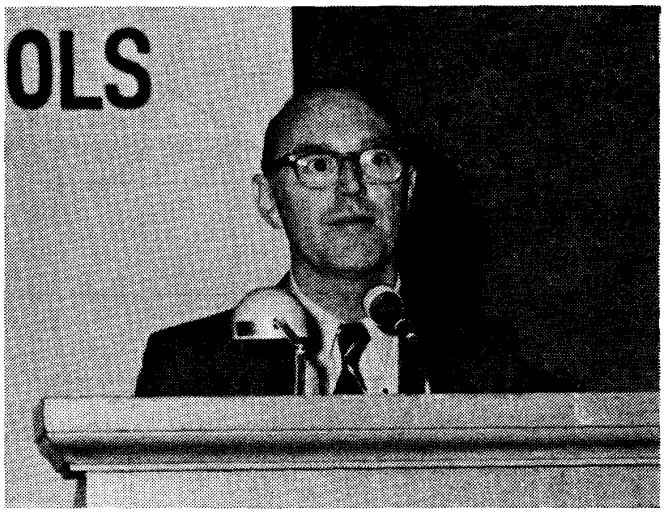
The Japanese Geotechnical Society

H. Bolton Seed 先生のご逝去を悼む



カリフォルニヤ大学 H. Bolton Seed（ボールトン・シード）教授が逝去されました。

Seed 先生は英国ランカシャーに生まれ，1944年ロンドン大学キングスカレッジを卒業され，1947年に Ph. D. の学位を受けられました。その後ハーバード大学で Terzaghi（テルツァーギ），Casagrande（キャサグランデ）の指導を受けて土質力学の研究を続けられるとともに，講師として教育に携わりました。その後 A. Casagrande 教授の推薦によって，1950年からカリフォルニヤ大学で土質力学を開講されました。

1955年の2月，カリフォルニヤ州バークレーでは夜は多少冷え込むものの，昼は日本の冬からは想像もできないような暖かい陽差しがキャンパスの緑に映えていました。窓のない白壁の建物が緑の中に浮きあがる工学部材料力学研究所の中にある教授室で私は初めて Seed 先生に会いました。小柄で軽快な若い Seed 先生の聡明なまなざしと親しみ深い笑顔とに好意を感じましたが，先生の早口の英語は日本から到着したばかりの私には半分も分かりませんでした。この日は，私と次男の研二とが親子二代にわたって30年以上もの長い年月ご指導をいただいた Seed 先生との出会いの日でした。

当時のカリフォニヤ大学では CBR で象徴されるように道路舗装に関連の深い締め固めた土の力学特性の研究が行われておりました。Seed 先生は自動車の走行による繰返し荷重を受けた土の変形を研究する三軸試験装置を考案しておられました。私が渡米した翌年にバークレー近郊のリッチモンドに新しい交通工学研究所が設立され，Seed 先生の研究室はこの研究所の中の独立した建物に移りました。この頃開発された繰返し三軸試験装置は後に Seed 先生が創始された土の耐震強度と変形特性を研究する動的三軸試験装置に発展する原形ともいうべきものでした。

その後の土の動的性質に関する Seed 先生の多大の貢献については，あまりにも有名であって，あらためてご紹介する必要のない程であると思います。Seed 先生の業績が世界的に著名となるにつれ，先生の指導下にカリフォルニヤ大学の地盤工学研究グループは優れた教授，研究者が参加して強化されました。私は Seed 先生の教えを受けた最初の日本人留学生となりましたが，その後数多くの優れた日本の技術者と学生が先生のリーダーシップを受けて研究生活を送られました。これらの方々は帰国の後各方面で活躍しておられます。

1950年代のカリフォルニヤ州ではフィルダムの設計にかかわる工学的な諸問題について知識と経験が蓄積されていました。Seed 先生は当時オークランドに事務所を持っていたウッドワード・クライド・コンサルタンツの Lungren（ラングレン）氏など若手の技術者と親交がありました。先生は土質力学の理論的傾向を彼らに伝えるとともに，彼らのコンサルティングワークに協力することによって，フィルダムの設計施工についての実用的な知識と経験を得られたと思います。後に先生はアメリカのみならず中南米，アフリカ，アジアの諸国の数多くの重要なプロジェクトについて，フィルダムの設計コンサルタントとして，あるいは委員会の委員長として活躍されました。

私が先生に師事したのはわずか1年有余に過ぎませんでしたが，その短い期間に体験した先生の研究の特質は，確認された実験的事実を尊重して，その積上げによって注意深く理論を構成して行かれる研究態度であったと思います。そして私が感嘆したのは，実験結果を予測する先生の直観力の鋭さでした。また先生の論文と講演に接した人は極めて単純化されて分かりやすいことを評価されたでしょう。科学的原理と法則について十分な理解に到達した人にして初めてなし得ることと私は考えております。また先生の明朗で尊大さのかけらも感じさせない性格は周囲の人々の心をいつも和やかな雰囲気につつみ込むことでした。1977年の東京会議にはお元気に活躍されましたが，その後病を得られ，一時は回復されたものの今年4月23日ついに帰らぬ人となられました。再び得難い科学者の逝去を心から悼み，先生のご冥福を祈ります。

（森　博：基礎地盤コンサルタンツ㈱社長）

（原稿受理　1989. 6. 6）

NII-Electronic Library Service